

製品名: PRKAG1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81301**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	37.6kDa

抗原情報

遺伝子名	PRKAG1
別名	AMPKG
遺伝子 ID	5571.0
SwissProt ID	P54619
免疫原	大腸菌で発現したヒト PRKAG1 (AA: 230-331) の精製された組み換え断片。

背景

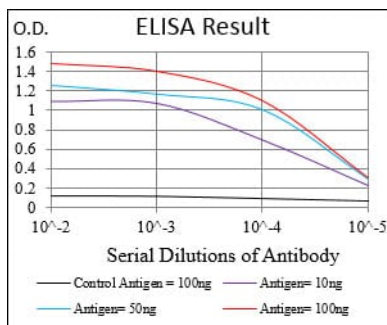
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) の調節サブユニットです。AMPK は、 α 触媒サブユニットと非触媒 β サブユニットおよび γ サブユニットからなるヘテロ三量体です。AMPK は、細胞のエネルギー状態を監

視する重要なエネルギー感知酵素です。細胞の代謝ストレスに応答して AMPK は活性化され、脂肪酸とコレステロールの de novo 合成の調節に關与する重要な酵素であるアセチル CoA カルボキシラーゼ (ACC) と β -ヒドロキシ β -メチルグルタリル CoA 還元酵素 (HMGCR) をリン酸化して不活性化します。このサブユニットは、AMPK の γ 調節サブユニットの一つです。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。

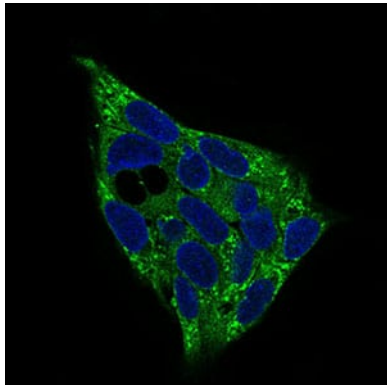
研究分野

-

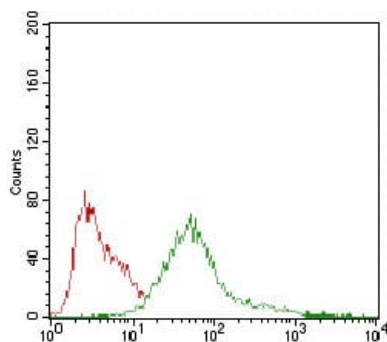
画像データ



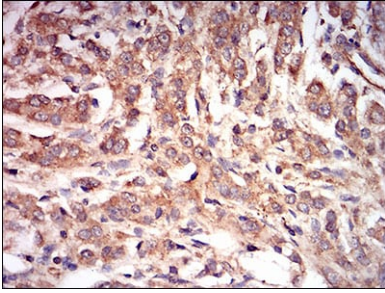
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



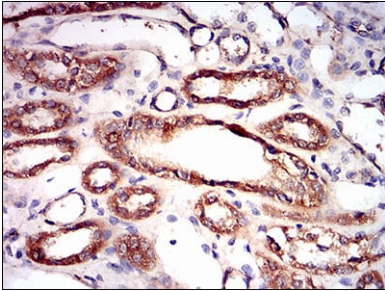
PRKAG1 マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



PRKAG1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



PRKAG1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学分析。



PRKAG1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。